

子どもと保護者と教職員とともに考える！



人権フォーラム新聞



令和5年7月20日発行第4号

2年生では、6月20日に県人権教育指導員の川田人包先生を講師でお招きして、『特別支援教育について』という演題で講演をしていただきました。講演会を通じて、お子様の理解と共感が深まり、多くの気づきと学びが生まれました。授業後のお子様の感想を読んで、私たち教員もともに学ぶ喜びや、お子様の心の成長を感じております。今回は2年生が学習後に書いた感想を各家庭に持ち帰り、それを読まれた保護者の皆さまの感想を掲載して、子どもと保護者と教職員で考える機会にしたいと思います。

保護者の皆さまの感想より



- ★共に学ぶためには、自分がどうすればよいかを考える事ができたようです。講演を聞き、学びや気づきに繋がり嬉しく思います。
- ★イタリアと日本で障がいに対する支援が違うことを知りました。
社会のあり方が変わると、そこに住む人の捉え方も変わりやすいと思いました。
- ★私の勝手な思い込みかもしれませんが2年生男子の子ども達はみんなが仲良くしていると私は思っています。しかし、息子には「お前の普通は相手にとって普通ではないことを忘れるな」と言っています。
相手の立場になることは難しいことですが、理解しようとする努力は出来るはずです。
- ★講演を聞く事で、障がいがある方も必要な対応、サポートする事で皆さんと同じ環境で過ごせる事、そして自信を持って人生を歩める事を学ぶ事ができたのではないのでしょうか。
私の場合、この様な事を学ぶ機会が少なかったので、障がいのある方に必要以上の事をしてあげなければいけない、特別な存在として見ていたかもしれません。今更ながら、私も子供の感想を読んで改めて学ぶ事ができました。ありがとうございました。
- ★障がい者について子供なりに、一緒に楽しく過ごしたいという思いが書かれた感想文でした。息子は、車イスの方や困っている方がいると何かしてあげられないか、すごく注意して見ているように思います。
私達大人もそんな所を見習って子供より先に行動できたら良いなと日々思っております。
- ★イタリアと日本の違いを書いていて、良い文化は受け入れることが重要だと感じました。

- ★息子が、誰とでも同じように接したいと述べていました。そうであって欲しいと思います。
- 私は、知らない顔をせず、自分にできる事を考え、解らない事は質問し、その人に心を近づける事が大切だと思います。誰かのために力になりたいと思える心が育ってくればいいなと思います。
- ★息子の山田さんの詩の感想で、「これからは自分にできることを見つけて頑張っていきたい」と最後に書いていたのを読んで、最近、勉強や特に部活を、一生懸命頑張っているなと感じています。この学習で息子なりに感じ、行動に移せているように思うので嬉しく思いました。
- ★娘が講演を聴いて障がいに対しての感想で、見方を変えれば考え方が変わる、見た目ではなくその人の個性や良いところを見つけないと書いていました。人権とノーマライゼーションについて家族で話をしました。私達は偏見や差別など無意識に相手を傷つけている事があります。娘がこれから出会うたくさんの人達とコミュニケーションをとり困っている人がいれば当たり前前に声をかけたり行動ができたりする人になって欲しいと伝えました。そして、娘からは一人ひとりの違いを認めて自分も含め周りの人もみんなの良いところを見つけて大切な存在である事、みんなが同じように平等で暮らしやすい生活が送れるようにしたいという言葉がかえってきました。娘と人権について家族で話をする事ができ貴重な時間を過ごせました。
- ★ちゃんと人権に対して理解できていて良かったと思いました。これからも思いやりの心を持って生活してほしいです。人権講演会で、障がいのある人が、安全に生活ができるために必要なものを理解し、どのように接したら良いのか気づかされたようです。これから、学んだことを行動に活かしてもらいたいと思います。
- ★生きているといろいろなことを考えさせられます。子どもたちもいろいろなことを感じ、考え優しい子になってほしいです。障がいではなく、個性と感じるようになってほしいです。考える機会を与えていただきありがとうございます。
- ★障がいのある人を偏見の目で見てしまうとの感想に、自分がどう接すれば良いか考えてほしいと思いました。自分がその立場になったら、と考えるとどう接してもらいたいかに分かると思います。その人の立場に立てば、おのずと偏見の目で見ることにはなくなるのではないのでしょうか。

教職員の感想より

今回はインクルーシブ教育についての学習の第一歩として川田人包先生に講演をしていただきました。イタリアとの交流を通して、日本と諸外国との違いについても考えを深めることができています。人種、障がい、性別などさまざまな違いをもつ人たちが、同じ環境で一緒に生活していくために、どのようなことが大切なのか、これからの学習をすすめていきたいと思っています。



SDGs目標 10「人や国の不平等をなくそう」